発掘ニュース

第 6 号

昭和 58 年 2 月 10 日

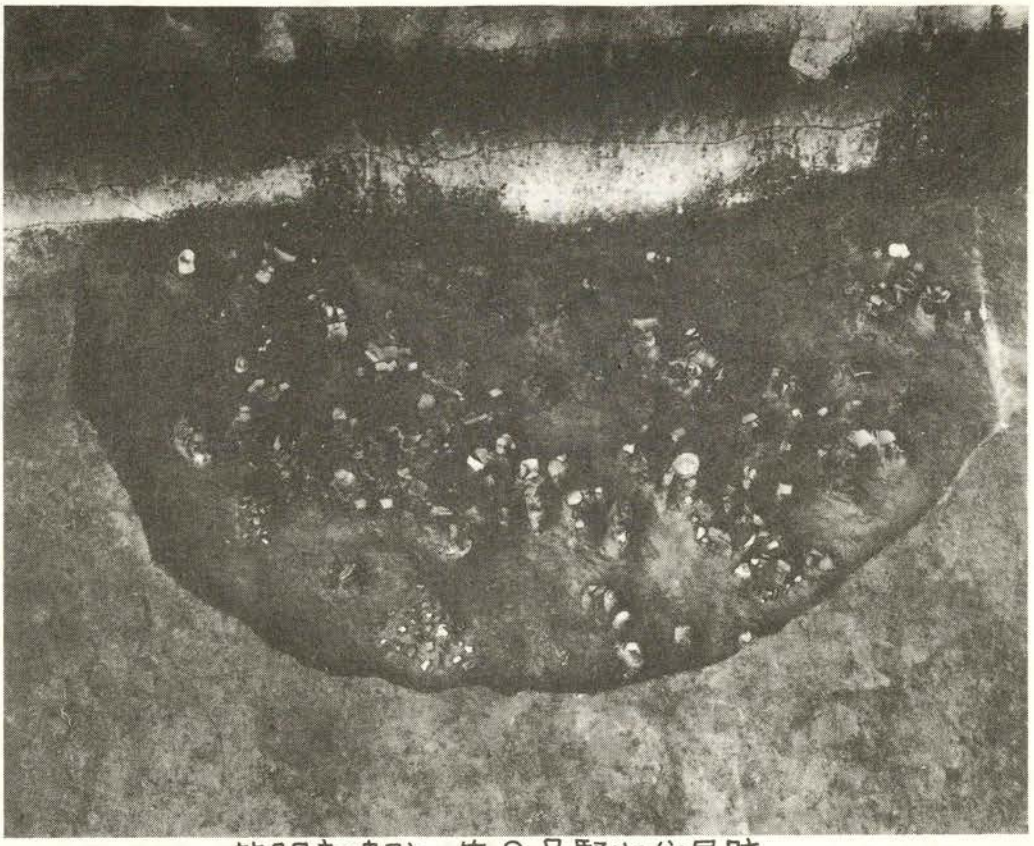
発行 財団法人 いわき市教育文化事業団

龍門寺遺跡

龍門寺遺跡発掘調査は、いよいよ大詰めとなり、調査範囲最北端にはいっています。ここは予想以上に深く（ちなみに現在は、表土下6m以下から縄文時代早期（約8000年前）土器が出土しています。）、遺構・遺物も多数検出され新たに解明されたものも少くありません。なかでも現表土下2.5mより検出された弥生時代中期前半の竪穴住居跡は、市内では植田町伊勢林前遺跡から一棟知られているにすぎず、東北地方においても稀有なもので、特に注目されるもののひとつです。また、長軸2.0m、短軸0.8mの土坑や幅0.8mの弧状の溝跡（両者ともお墓と考えられる）も検出されています。これらほぼ同時期の遺構から出土したおびただしい量の土器・石器を観察することによって、当時（約2000年前）の生活様式をつぶさにかい間みることができ、とても貴重なものといえます。

さらに、本遺跡からは今までに4種類9基の井戸跡がみつかっており、今回は生活跡を中心として上述した弥生時代の竪穴住居跡と井戸跡を掲載し、現在調査が行なわれている渡辺町田部の岸遺跡のようすを紹介します。

とじておきましょう



龍門寺遺跡　第8号竪穴住居跡

弥生時代の住居跡

龍門寺遺跡の調査範囲の北端から弥生時代中期の竪穴住居跡が発見されました。この住居跡は、写真でもわかるように直径が約4.5mの円形（半分は調査区外に延びているために未調査）であると思われます。住居跡の床面からは、床を掘りくぼめた「炉」跡も発見され、火を焚いたときの焼土や炭なども検出されています。

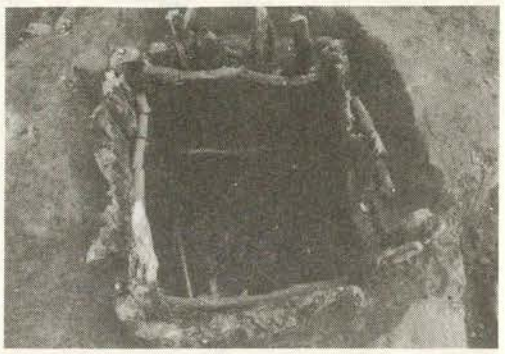
この竪穴住居跡からは、床一面に弥生時代中期前葉（約2000年前）の土器が散乱した状態で出土しました。これらの土器には、壷・甕・鉢・椀・高杯・蓋などがあって、弥生時代の人々が使っていた食器や台所用器がセットとして窮える貴重なものです。また、これらの土器に描れた文様は磨消縄文と呼ばれる文様が中心で、いわき地方には類例が少ないものです。加えて、磨消縄文の土器を伴う竪穴住居跡の例は、福島県はもとより、東北地方でもほとんど知られていないことからも、龍門寺遺跡出土の弥生時代住居跡は非常に重要な資料であります。

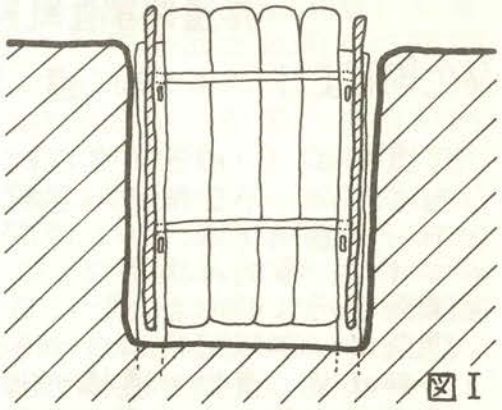
ー井　戸ー

龍門寺遺跡

水は人が生きていくうえで欠くことのできないもののひとつです。四季を通じて降水量の豊富な日本列島では、定住生活を営む弥生時代頃から「井戸」を掘って地下水を利用するようになりました。井戸は技術が進歩した現在も素材・構造を変えながら色々な用途に応じて造られています。

谷状の地形という好条件下にある龍門寺遺跡からも多くの井戸が発見されています。単に地面を円筒状に掘り込んだ「素掘り井戸」4例、板材を縦や横に組んで造る「木組み井戸」3例、底板を抜いた桶を積み上げた「桶積み上げ井戸」1例、加工しない人頭大の石を組んだ県内初の「石組み井戸」1例などがある。





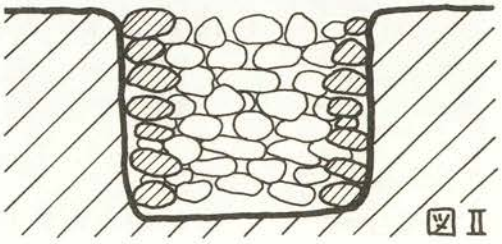
図Ⅰ

図Ⅰ　縦板組隅柱横桟とめ井戸

板材を縦方向に組み、四隅に立てた柱に横の桟でとめたものです。桟は隅柱の枘穴に差し込まれています。一辺1mの方形で深さは1.7mを測ります。古代から中世頃の井戸跡と思われます。

図Ⅱ　石組み円筒形井戸

加工されない人頭大ほどの砂岩を円形に6～8段積み上げたものです。砂岩は板材と異なり腐らないという利点があります。直径1.2m、深0.8mを測り、底には擂鉢の破片が出土しています。中世～近世頃の井戸跡と考えられます。



図Ⅱ

岸遺跡調査風景

石帯（表）

石帯（裏）

文化財だより　―岸 遺 跡―

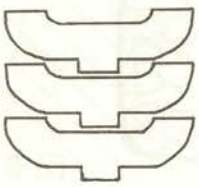
岸遺跡は、いわき市渡辺町田部字岸に所在します。泉駅から西に2.5Km、市立渡辺小学校西側の山裾に位置します。いわき市の水道局では、ここにポンプ場を建設する計画を立てたのですが、事前の調査で、ここが遺跡であると確認され、発掘調査が行なわれることになりました。

調査は、昨年12月14日から始まりましたがこれまでに、数々の興味深い遺物や遺構が出土しました。

遺構は、掘立柱による建物跡と、それに付属すると思われる井戸跡・土坑・大溝など、また、これらとは時期を異にしますが、50cm方形の箱棺（お棺）がみつかっております。遺物では、石帯・耳皿（ハシを置く皿）・墨書土器（土器の表面に墨で字や絵を書いたもの）、それに、木製のくりぬき鉢や曲物・ハシ・うるしを塗ったお椀などが、また、玉取獅子を描いた景徳鎮染付小皿（龍門寺遺跡でも出土）や伊万里焼と思われる焼物がみつかっております。石帯は、龍門寺遺跡でも出土していますが、岸遺跡の石帯は、形が方形の「巡方」と呼ばれるものです。さて、遺跡の時期ですが、出土している遺構や遺物から、平安時代から江戸時代頃までと考えられます。

《福島県考古学会のお知らせ》

開催日　昭和58年3月5日(土)・6日(日)
場　所　飯坂市民センター



編集　(電話)0246－24－2803
(財)いわき市教育文化事業団　龍門寺遺跡調査係

とじておきましょう